

よしの荘だより

平成28年
6月10日発行
第42号

寿

祝百歳

入山元一様(従来)



大正5年4月6日、桜の咲く頃生を受け、百回の桜の花を見ることが出来ました。子供の頃から父の仕事の籠作りを手伝い、結婚してからは、板金の仕事で生計を立て、とても几帳面で見目な性格です。百年の月日には、戦争を経て大変ご苦労されながらも、一生懸命ご家族を支えてきました。老後は、家族に支えられ98歳まで自分の足で歩かれ、よしの荘デイサービスを利用されていましたが、歩行困難の為、よしの荘に入所されました。施設での生活は、とてもお話し上手で、穏やかな笑顔の素敵な方です。家族の方も、まめに面会に来ては、好物のサツマイモやコーンポタージュを手作りし持参され、「美味しい」と何度も言って召し上がる笑顔に桜が満開でした。百歳おめでとうございます。

びび

みんなの力でバーベキュー (ケアハウス)



5月15日(日)は絶好の行楽日和となり、庭でテントを張りバーベキューを行いました。男性は9時に集合し、6人全員が協力してテントを張りました。「せーの」の掛け声で立ち上がったテントはとても大きなものでした。女性達には野菜を切ったり具材を出して並べたりしていただきました。体が不自由な方も一緒に頑張って机や椅子を並べてくれました。テントの下に全員が集合し、焼きそばやウィンナー、とうもろこし、ピーマン等を鉄板で焼きました。屋外での食事はひとときわおいしく頂くことができました。新規入居者の方には挨拶を頂き、和気あいあいと進行的、入居者全員が一つになった感じがしました。



母

母の日(Mother's Day)

さくらユニットでは母の日のイベントを行ないました。毎年楽しみに待ってくださっているので笑顔がたくさん見られる事を想像しながら計画を立てました。「去年はカーネーションをもらったね。」と笑顔で話されたのを聞き、今年手作り大きなカーネーションを贈ることにしました。

当日、一人ひとりに言葉をかけながら手渡しすることができました。「去年は赤色をもらったから、今年はピンク色がいいな。」と意外な返事と、覚えてくれていたことに、うれしかったり面白かったり。計画をして良かったなど思えた瞬間でした。



さくらユニットのご利用者から職員に向けてお礼のお手紙が届きました。



去る9月、鬼怒川の堤防決壊のときにはテレビに釘付けとなりました。皆様の支えで乗り越えることが出来ました。世情も穏やかでないことが多いのですが、自分の心だけはしっかり強くもってゆきたいものです。若い人には出来るだけ迷惑をかけないように自分の出来る限りの努力はしたいと思っています。よしの荘の食事は大好き。職員の皆様も大好き。なんといっても健康が第一ですから、職員の皆様のお体を大切にしてください。(原文)

夏野菜

初挑戦のさつまいも(ホイ)



デイサービス前庭に、さつまいもの苗を植えました。毎年ゴーヤやトマト、ナス等の夏野菜を栽培してきましたが、さつまいもは初挑戦です。先生(ご利用者)の指導のもと、無事植え付けが終わりました。今年の秋は焼き芋を皆で食べます。追って、皆さんに成長具合を報告していきます。



ギターと一緒に(従来)

5月26日、ギターサークル「G4」の演奏を楽しみました。「G4」とは4人でギターを…ということだそうで、「いっしょに歌いましょう」と歌の葉を用意して下さいました。赤い靴や月の沙漠など7曲が演奏され、ギターとご利用者の歌が響き合う、ちょっとおしゃれなときを共に過ごしました。

その日の夜、5〜6人のご利用者が集まって葉を見ながら歌っていらつしやいました。その姿はまるで女学校のお仲間のようにでした。



新しい送迎車両

2月、よしの荘初のホンダ車となるNワゴンが、日本財団様の助成により納車されました。

主に短期入所ご利用者の送迎に利用して3ヶ月が過ぎましたが「大きなグリップが付いているし、車高が高くないので乗り降りしやすい」「きれいで、かわいい!」と大評判。未永く地域貢献の強い味方として活躍してくれることでしょう。

日本財団様をはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に心より御礼申し上げます。



ボランティア・実習生

ボランティア

- 筑波大学 ときめき太鼓塾
- 四国八十八カ所 お砂踏み
- 傾聴ボランティア
- 信田京子様
- 紙芝居 角川 美登志様
- よみきかせ 篠崎みつ子様
- 常総マツサージ様
- さくら会様

実習生

- 筑波総合福祉専門学校様
- 筑波研究学園専門学校様

編集後記

「100歳を超えると、前例やお手本がなく、自分で創造して生きてゆかなくてはいけない。」篠田桃紅さん(103歳美術家)の著書の中の一文です。年を重ねるといふことは、経験を積み、知識を蓄えるのと同時に創造力によつて人生を切り開く先駆者でもあるのだと感慨深く感じた一文でした。入山様が100歳を迎え、お祝いの記事を入力しながら、一文を思い出し、高齢であるご利用者の人生に関わり、支援してゆくことの重みを再認識させられました。

《苦情申し出窓口》

苦情責任者 久松 美三雄
第三者委員 鯉沼 和義・柴崎 勝也

《各部署窓口》

特別養護老人ホーム	小川 純子(生活相談員)
	中荻 美枝(主任支援員)
	宮本 正己(主任支援員)
居宅介護支援事業所	松本 強 (主任介護支援専門員)
通所介護事業所	園田 幸子 (副センター長、看護師)
	金澤 節子 (生活相談員)
ケアハウス	加藤 道子 (生活相談員)



※紙面の写真・氏名については、ご本人または、ご家族の同意を得て掲載しています。

《発行者》

社会福祉法人東雲会 よしの荘
本館 TEL 0297-22-7716
FAX 0297-22-7176
新館 TEL 0297-20-2112
FAX 0297-22-7807

《所在地》

茨城県常総市上蛇町 1888-1

<ホームページ><http://www.yoshinosou.or.jp/>